

Life  
Support  
TEDAKO

**QSK**

令和 6年 7月 夏号 No.246 発行部数 3,000 部  
NPO 法人ライフサポートてだこ 代表/高原 満  
〒901-2126 沖縄県浦添市宮城 3-13-12  
Tel. 098-875-2557 Fax. 098-875-2666  
E-mail: lstedako@yahoo.co.jp HP: http://www.lstedako.com/

# ひだまり通信



## デイサービスってどんなところ？えんの日常



◆楽しいレク活動◆

◆みんな大好きおやつ時間◆



◆おさんぽ同好会◆

◆工作同好会◆



デイサービスセンターえんの  
インスタアカウントはこちら！✦  
えんの賑やかで楽しい雰囲気  
を覗いてみてください✦  
フォローお待ちしております！

Instagram



DAYSERVICE.ENN

まだまだ知らない方も多い『デイサービス』  
入浴や食事はもちろん、手工芸やレクリエーション、外  
出等、たくさんの活動を行っています！☺✦  
えんの利用者様は明るい方が多く、談笑したり歌ったり  
とにかく賑やかな毎日！（笑）  
そんな利用者様に元気づけられながら私たちスタッフ  
も楽しく働いています！☺❤  
『楽しい介護の世界』を知ってもらえるように、  
これからもひだまり通信やインスタグラムを通して  
発信していきたいと思ひます！^^

### こっこだけのほ・な・し

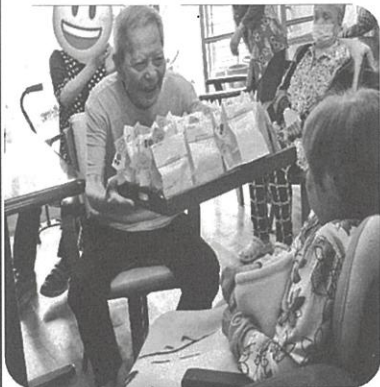


### 生け花 初挑戦

今回の母の日のプレゼントは生け花アレンジに挑戦してみました。お母さんの為に子ども達は「こうかな〜?」「お母さん喜ぶ?」と真剣に花をいけていました。出来上がった生け花は「お母さん大好き♡」があふれていてどの子も素敵な生け花でした。お母さん達にも大好評!子ども達もお母さんにもここに



### 小規模多機能ホーム あん日記



あんの大切なお母さん方へ、日頃の感謝を込めて、皆で母の日をお祝いしました♡  
この日の為に、男性利用者さんが悩みに悩んで選んでくれたケーキと、職員が夜なべして作った記念品をプレゼント!  
お返しにお母さん方から、素敵な笑顔を頂きました♡

お母さん、本当にいつもありがとう!

Instagram



YouTube



インスタ、YouTube 随時更新してます♡是非見に来てください♪

## 高齢者の総合相談窓口 浦添市地域包括支援センター ライフサポート

情報満載!



RAISAPO.URASOE

Instagram

みんなで考えてみませんか? 地域課題の種について

高齢者  
あるある

### ゴミ出し問題

- ・ゴミ捨て場まで行けない
- ・ゴミの分別が難しい
- ↓
- ・家の中にゴミがたまる
- ・衛生環境が悪くなる
- ・ご近所トラブルに発展

### オートロック住宅問題

- ・一人暮らしや要介護者のみの世帯
- ・中から開けてもらえないと入れない
- ↓
- ・見守り体制がとりづらい
- ・緊急時の対応が遅れる
- ・個人情報の壁

防犯には  
良いけれ  
ど。。

### 民生委員さんの人手不足問題

浦添市  
定員割れ  
です

- ・高齢化
- ・希薄化した地域の繋がり
- ↓
- ・困っている人が埋もれてしまう
- ・地域の安心、安全性が低下する
- ・地域の活性化が損なわれる

### 住宅探し問題

- ・高齢者の引っ越し先が見つからない
- ・一人暮らしや高齢者世帯にはお部屋を貸してくれない所が多い
- ↓
- ・階段や段差が解消できず引きこもる
- ・生活不活発で病気になるやすくなる

段差の  
ない1  
階人気

地域包括支援センターは日々地域の皆さんと関わりながら、お困りごとの解決に向けて知恵を絞っています。これまでできていたことができなくなった時、家族や地域資源、社会保障制度などを利用することで解決できることも多くあります。しかし、解決の道を塞ぐ「壁」を感じることも多々あります。もう少しこんな制度があったらいいな、この問題はこうしたら解決できそうだ、という知恵やアイデアをみんなで出し合って、ちょっとした困りごとにも対応できる安心安全に暮らせる街づくりができたらと思うのです。

上記の困りごとの他にも、たくさんの「地域課題の種」があります。その種の育て方次第では、きっといつか芽を出し蕾をつけ、そして「地域の花」となるかもしれません。ぜひたくさんの花が咲きほこる素敵な街を目指しましょう! ご意見・アイデア等、お気軽にお電話下さい! ↓

浦添市地域包括支援センターライフサポート: ☎ 098-875-2560

## 和顔愛語・起きて半畳寝て一畳

最近、過去の自分、若かった頃の自分の立居振舞を振り返る場面が多々ある。ある程度の年齢、経験を重ね（ジジイになったからか…）、挨拶されてから挨拶を返す後出ししていた頃。されなきゃ視界に入れることなく気づかないふりをしていたあの頃。ありがとうじゃなく「当たり前だろ」と思っていた頃、自ら行動しなくてもなんとなく過ごせていたあの頃。幼かった…いや、ガキだったあの頃を思い出しては、なぜあの頃はできなかったのか今となっては赤面で悔いるばかりだ。一日の大半を占める事務所内で、口を縛ることができない満杯のゴミ袋を見つめていた時に、もう限界だなと思う私の感覚とは裏腹にゴミは重ねられていく。まるでジョジョの奇妙な冒険の表面張力を試すワンシーンのように。だが、あの頃の私も同じようにジェンガを積み上げる様にゴミを重ね、まだ入るのにもつたないという訳のわからない感覚の理論で正当化しその場を去っていただろう。ただゴミ袋の口を結ぶだけなのに、今じゃなくていいだろう、私じゃなくていいだろう…誰かがやってくれるだろうと。もう一つ、ライフサポート事務所には頂き物のシュレッダーがある。このシュレッダー、年度初めは繁忙期を迎え、私たちの出した不備、不必要な資料、都合の悪い資料を口に差し込めば、重要な資料であれ好き嫌いせず躊躇なくムシャムシャ細断するととても頼もしい存在だ。しかし満腹のサインが灯ると食する事を拒絶する。勿論、細断された紙を取り除き空腹になるまで食してくれない。不備資料を口に差し込むと完食する前に満腹のサインが灯った。一度舌打ちしガチガチに詰まされたダストケースを取り出し、眼の詰まったカッターを目の当たりにして絶望を感じながら取り除き、散らばった細断物をかき集めながら何度も満腹のサインを出していても切断物を圧縮し食させられるシュレッダーが気の毒に思えてくるが、あの頃の私は、ダストケースが破損するくらい細断物を押し込み「まだ入る！」とその場を去っただろう。

ゴミがまとめられ、ゴミ出し日に指定の場所へ勝手に移動する事はない、シュレッダーがダストケースの細断物を消化する事もない、汚したトイレがトイレの意味で勝手に綺麗になっていることも絶対ない。それらが成されるのはいつも誰かが限られた時間の中で人を思いやり行動しているからだ。花を見てほめる人はいるけど根を見てほめる人はなかなかいない。根を見て感謝を伝えることができるそんな人でありたい。

最新情報はライフサポートホームページをCHECK! ⇒⇒



LINEはこちら⇒⇒



ブログも随時更新しています!! ⇒⇒

<https://lstedako.ti-da.net/>